

令和6年度「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 募 集 案 内

平成26年7月に施行された水循環基本法において、8月1日が「水の日」と定められました。また、8月1日から1週間は「水の週間」とされており、水の貴重さや健全な水循環の重要性等について、国民の皆様に理解と関心を深めていただくために、国及び地方公共団体では様々な取り組みを行っています。

茨城県では、この事業の一環として、次代を担う中学生を対象に水の作文コンクールを実施します。

1 テーマ 「水について考える」（作文の題名は自由）

“水の惑星”と呼ばれる地球。でもその水は、無限ではありません。海から蒸発して雲になり、雨や雪となって地上に降り、川から再び海へと循環しているのです。

地球上をめぐる限られた水を、人々は身近な生活のほか、農業や工業など多くの場面で便利に使っています。その一方で、ときには洪水や水不足の被害に見舞われることもあります。

水の恵みを利用し、災害を防ぐために、はるかな昔から現在まで、人々はさまざまな努力をしてきました。水とのつきあい方の工夫は、町のいたる所で目にすることができます。

あなたにとって、水とはどんなものですか？暮らしのなかでの体験や、授業で学んだことや調べたことをもとに、水についての考えを作文にまとめてみましょう。

2 応募資格

令和6年度に県内の中学校、中等教育学校1～3年次及び義務教育学校7～9年次に在学中の者

3 応募内容

(1) 原稿枚数

400字詰原稿用紙4枚以内（日本語により表記された個人作品に限る）

作文には、本文の前に題名、学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）を記入してください。

※ 別添記入例を参照してください。

(2) 応募作文

① 応募作文は自筆によるものとし、自作の未発表のものに限ります。

（けが等で自筆が困難な場合は、事前に事務局まで御相談ください。）

② 応募作文の使用権は、茨城県及び水循環政策本部、国土交通省に帰属します。

③ 応募作文の返却は行いません。

(3) 応募方法

作品及び送付票（別紙様式）を、学校から10の送付先へ送付してください。

(4) 応募締切日

令和6年5月9日（木） 到着分有効とします。

4 審査

(1) 茨城県審査

茨城県審査会において優秀作品を選定します。

(2) 中央審査

茨城県審査により選定された優秀作品のうち、上位5編は、国土交通省で実施される中央審査に推薦します。

5 茨城県審査の審査基準

別記1のとおり

6 賞及び副賞

別記2のとおり

7 入賞発表

入賞発表は、5月下旬から6月中に行い、各学校あて通知いたします。また、7月に報道発表を予定しています。

(入賞作文については、作文のほか、記載された学校名・学年・氏名を国土交通省及び茨城県のホームページや作品集に掲載するほか、報道機関を含めた関係者へも提供することとなりますので、予め御承諾の上、御応募ください。)

8 賞状等の授与

最優秀賞、優秀賞及び入選の受賞者には、茨城県表彰式にて賞状等を授与する予定です。

学校奨励賞は、学校あて賞状等を送付いたします。

9 個人情報の取扱い

本コンクールの応募作品に記載の個人情報は、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。

10 送付先

〒310-8555

水戸市笠原町978-6

茨城県政策企画部水政課「水の作文」担当

電話 (029)301-2625 (直通)

(別記1)

「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 審査基準

テーマ「水について考える」にふさわしく、日常生活体験や学習を通じて得られた内容であって、アからエに適合する内容を有することを基準とする。

ア 水の貴重さ、水源地域、水資源開発、水の様々な用途への安定供給や環境保全等（※）の大切さ等が適切にとらえられていること。

（※）例えば、以下の表に示す項目。

①森林による水源かん養	水源地域の人々への感謝、水源かん養のための森林が果たす役割
②川の様々な役割	水を利用するための水源、自然環境の保全、人と川との豊かな触れ合い
③ダム	洪水調節、水資源開発、観光資源
④農業用水、農業水利施設	農業生産を支える水、渇水時の労苦、農業用水が有する多様な機能（水源涵養、生態系保全等）、先人の努力により築かれた農業水利
⑤堰による取水	歴史的な水争い、如何にして川の水を取水しているか
⑥水道	安心して蛇口の水を直接飲むことができる環境を作っている施設の役割の大切さやそこで働いている人たちへの思い
⑦工業用水 ものづくり（産業）と水	ものづくりには豊富な水資源が必要 何故、工場は河川や海の傍に立地するのか
⑧水力発電	再生可能エネルギー、小水力発電の取組
⑨水ビジネス	日本の水技術を国際的に展開することの意義
⑩省水、省エネ化など水に関する技術	工場などでの循環利用による省水化、海水淡水化施設、再生水施設
⑪水質改善、下水処理	川や湖や海の水質改善のために自分たちでできる工夫、下水処理の役割
⑫雨水の利用	雨水利用の意義や普及促進のアイデア

イ 将来の夢、提案などが中学生らしくまとめられていること。

ウ 抽象的、観念的なものでないこと。

- ・地域性に触れられている
- ・実体験がいきいきと描かれている 等

エ 字句の正確さや、文章の構成がよくできていること。

(別記2)

「全日本中学生水の作文コンクール」茨城県審査 賞及び副賞

賞	選定数	摘要	賞状	副賞
最優秀賞	1編	—	賞状を授与する	副賞を授与することができ る
優秀賞	4編	—		
入選	5編程度	最優秀賞及び優秀賞以外の作文		
学校奨励賞	若干校	コンクールに積極的に参加している中学校		—